



2月新着おすすめ本



「なまけもの」のやる気スイッチ
内藤 誼人(著)

「なんだかいつもダラダラしてしまう……」「仕事をしなきゃいけないのにスマホを見てしまう…」このような自覚症状があるのなら、ぜひ本書をお読みください。どんな「なまけもの」の人でもやる気に溢れて行動的な人間に生まれ変わることができます。

141.72
NA



おしまい図鑑
すごい人は最期にどう生きたか？
真山知幸(著)

伝記や教科書、図鑑で「偉人」とされるすごい人たちだって、いつも絶好調で活躍していたわけではありません。自分の人生の「おしまい」を感じつつ、最期まで自分らしく生きようとしていました。大切なのは「これからどう生きるか」です。生きる力が湧いてくる新しい人生の教科書。

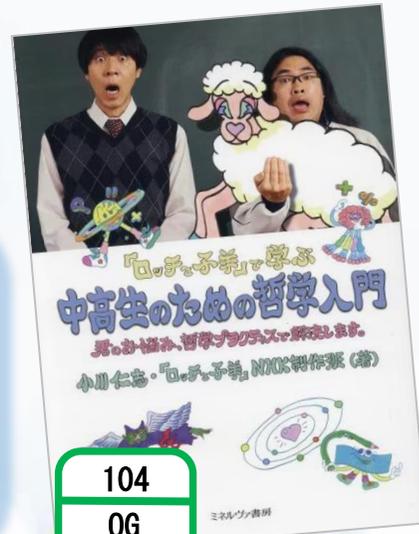
280
MA



現役弁護士作家がネコと解説
にゃんこ刑法
五十嵐 律人(著)

法律の世界を学ぶことは、社会を俯瞰してものを見ることができたり、論理的・合理的な考え方を学ぶことができます。ユルカワだけど、中身は本格派。難しい法律の世界がスイスイと頭に入ってくるので不思議です。

326
IG



『ロッチと子羊』で学ぶ
中高生のための哲学入門

小川仁志、『ロッチと子羊』NHK制作班(著)

「嫌われるのが怖くて発言できない」「将来の夢が見つからない」友だちとの関係をはじめ、部活動や勉強、自分の生き方に悩む中高生のために、NHK Eテレの人気相談番組『ロッチと子羊』が書籍になりました。

104
OG



2月新着おすすめ本



スマホアプリはなぜ無料?

松本健太郎(著)

なぜ世の中には無料で使えるサービスがあるのか? 10代のうちから絶対に知っておくべきお金の仕組みが、身近な事例から楽しくわかりやすく学べる!

675
MA



東大8年生 自分時間の歩き方

タカサカモト(著)

自分の目で見、自分の心で感じて、自分の頭で考える。一風変わった生き方を歩んできた著者が、「自分時間の歩き方」を実体験とともに伝える痛快エッセイ。

914.6
TA



八月の御所グラウンド

万城目学(著)

直木賞受賞作。
感動&感涙の傑作青春小説。
京都で起きる、幻のような出会いが生んだドラマとは…
感動作2篇。

913.6
MA



大ピンチずかん2

鈴木のりたけ(著)

ベストセラー絵本『大ピンチずかん』の第2弾が、満を持して登場。
子どもが大ピンチに陥ってしまったとき、その大ピンチの理由がわかれば、そんなにおそれることはない。

E
SUZ